

事業を実施する背景

- 人生100年時代やDXの急速な進展、新型コロナウイルス感染症をはじめとした緊急時の学びの保障対策など、学校内外のDX推進が急務
- 学校現場の「1人1台端末環境」を踏まえ、デジタル教材・学習コンテンツのさらなる充実・活用促進が必要（GIGAスクール構想は整備フェーズから利活用フェーズへ）
- 自治体のDX推進も見据え、教育委員会を巻き込み、子供、教員、保護者の多様なニーズに応じた学習コンテンツの作成を行うとともに、ハブ機能を有した利便性の高い学習支援ポータルサイトの構築が求められている



これまでの取組と今後の課題

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休校への対応として、「子供の学び応援サイト」を緊急的に立ち上げ、「学習支援コンテンツポータルサイト」として一定の役割を果たした（NHK for School、教育委員会、大学、教科書発行者、NPO等の作成する無償の教材や動画等を掲載。リンク数約800、延べ閲覧回数650万PV以上、LINE登録数約33万人。）
- 今後はGIGAスクール構想の新たなフェーズ（利活用フェーズ）を後押しすべく、民間企業・団体等とも連携しながら、新規学習コンテンツの拡充や内容の抜本的な刷新が必要
- 学びのDX推進に向け、「学習eポータル」と「学習コンテンツ」との連携や利活用に向けた検討が必要

学びのDX推進に向け、「コンテンツ」・「機能」・「デザイン性」の充実・高度化を図る等、サイトの抜本的改革が急務

令和5年度取組

▶ 学びのDXを推進するポータルサイトの構築・新規コンテンツの充実 【民間企業等 1箇所×24百万円】

【メインターゲット】 子供（小・中・高）、保護者、教員

【活用目的】 1人1台端末環境を踏まえ、学習支援コンテンツの充実による学校内外での活用を促進（授業や自宅学習での活用、緊急時の学びの保障等）

【取組内容】

- ★ 保護者や教員のニーズを徹底分析し、効果的な情報発信、充実した内容のポータルサイトを構築（授業や家庭で日常的に活用されるサイトを目指す）
- ★ 都道府県教育委員会等が作成する各地域の特色・ニーズに応じたコンテンツの収集・展開。新規コンテンツの開発（教育系youtuber動画、学習アプリ等）
- ★ 子供目線の「使いやすさ」、好奇心をくすぐる「見た目」・「面白さ」を徹底的に追及するとともに、**検索性、利便性**にも配慮
- ★ 「学習eポータル」と「学習コンテンツ」との連携に向けた検討

事業を通じて得られる成果（インパクト）

- ✓ 学びのDXの推進（デジタル教材・学習コンテンツの充実・活用促進、学習eポータルとの連携）
- ✓ 緊急時の学びの保障